






2026年は、人権とジェンダーをめぐる議論が制度面・国際面の双方で大きな節目を迎えます。国内では、女性活躍推進法の改正に伴い、企業における情報公表や取組の実効性がこれまで以上に問われ、自治体・関連機関には、正確で幅広い知見に基づく情報提供が求められています。一方、国際的にも、多様性と平等を推進する主要会議や関連イベントが相次いで開催され、ジェンダーを交差的・歴史的に捉える視点の重要性が再確認されています。本テーマ別選書では、フェミニズム、労働、家族、身体、歴史など多角的な切り口から、現代社会の課題を読み解く書籍を厳選しました。資料収集・情報発信の基盤づくりに、ぜひご活用ください。





2025年刊行 女性問題関連書籍のご紹介

1	495.13	月経	2025年7月	9784766430424	2	495.9 498.7	助産師-歴史/胎教/産育習俗/衛生-朝鮮	2025年2月	9784766430110
 <p>月経 (ピリオド) どこまで解明されているのか</p> <p>ケイト・クランシー (イリノイ大学人類学教授) [著] / 坪子理美 (翻訳家) [訳]</p> <p>四六判 / 並製304頁・本体3,600円 電子有</p> <p>・月経について科学的な解明に基づき徹底的に探求、誤解や偏見を解く。 ・西洋・白人女性を「ノーマル」とした概念を脱し、生理メカニズムの多様性を明らかにする。 ・男女ともに月経に向き合うために、社会に必要なことを問う。 「月経 (ピリオド)」は、女性差別において長い歴史を持ち、男性中心の科学分野でも偏見にさらされてきた。人類学者である著者は、最新の医学研究やフィールドワークによってその多様性を検証し、家父長制と植民地主義的な価値観が、私たちの身体理解にどう影響を及ぼしてきたかを明らかにしつつ、月経の拓かれた未来のために大胆な展望を示す。</p> <p>(棚ジャンル) : フェミニズム / サイエンス・ノンフィクション (読者対象) 一般 (人体の仕組み / 人体と社会の関係性に関心のある読者) (類書) : アヌシェイ・フセイン『女性の痛みはなぜ無視されるのか』(晶文社)</p>					 <p>植民地朝鮮と「出産の場」 産婆と胎教の衛生史</p> <p>厩素妍 (京都大学文学部文芸学専攻) [著]</p> <p>A5判上製304頁・本体4,800円 電子有</p> <p>「生」をめぐる帝国の権力を可視化する 植民地朝鮮において産婆や胎教がいかに存在し機能したのか。 朝鮮社会の葛藤を、新聞・雑誌などの言説空間に注目して浮かび上がらせる力作。 日本統治下にあった20世紀前半の朝鮮における「出産の場」、とくに産婆や胎教がどのように機能していたか、言説分析を通して明らかにする。「出産」をめぐって日本人の役人、医師、朝鮮人産婆、優生学者などが、新聞・雑誌でさまざまな言説を展開した。「近代の知」が旧弊の「風習」とときに対立し、ときに協力関係を結ぶといった複雑なせめぎあいがあったことを実証的に論じ、出産する女性をとりまく様相を起点に「歴史叙述を女性へ取り戻す」ことを試る。</p> <p>(棚ジャンル) 朝鮮史 / ジェンダー (読者対象) 植民地史 / ジェンダー研究を専攻 (類書) : 林采成『健康朝鮮』(名古屋大学出版会)</p>				
3	367.1	女性問題/人種差別/社会的差別	2025年10月	9784766430561	4	367.1	女性問題/現象学	2025年10月	9784766430677
 <p>フェミニズムから読みなおす インターセクショナルリティ基本論文集</p> <p>佐藤 文香 編・監訳 / 千田 有紀 編・監訳</p> <p>A5判並製288頁・本体3,200円</p> <p>・人種・階級・ジェンダーが複雑に絡みあう差別とは？ ・いまやパスワードとなった「インターセクショナルリティ」を、フェミニズムの観点から捉えなおす。 ・原点であるキンバリー・クレンショアの記念碑的論文 (1989年) から、現在にいたる最重要論文7本を精選した必読アンソロジー。 キンバリー・クレンショアは、1989年に黒人差別と性差別が重なる抑圧を「インターセクショナルリティ」という概念で可視化した。以来、この分析概念は、人種・階級・ジェンダーが交差する複合的な差別の実相を考察するために、女性学や社会学、政治学などの分野でさまざまな応用されてきた。本書は、フェミニズムの視点から「インターセクショナルリティ」を捉えなおし、原点であるクレンショアの記念碑的論文から現在にいたるまでの学術的軌跡を7本の最重要論文によってたどる。 現代社会の不平等、差別をフェミニズムから再考するための必読アンソロジー。 (棚ジャンル) 社会学・ジェンダー (読者対象) フェミニズム、ジェンダー研究を専門とする研究者・学生 (類書) パトリシア・ヒル・コリンズ他『インターセクショナルリティ』(人文書院)</p>					 <p>女らしさと支配 抑圧をめぐるフェミニズム哲学</p> <p>サンドラ・リー・パートキー (元イリノイ大学教授) [著] / 井上太一 (翻訳家) [訳]</p> <p>四六判 / 上製272頁・本体3,400円 電子有</p> <p>「フェミニストになる」とはどういうことか？ 美容行為、サドマゾヒズム、ケア労働などのテーマを通して内面化された男性支配を暴いていく。第2波フェミニズムの金字塔、待望の邦訳。 フェミニズム理論と現象学を融合させ、女性が日常生活の中でどのように抑圧されているかを鋭く分析。身体、感情、自己認識にまで及ぶ「女らしさ」の規範が、女性に内面化された支配の形であることを明らかにする。特に、ミシェル・フーコーの権力論を応用し、女性の身体がいかに社会的に形成され、管理されているかを論じる。第2波フェミニズムの名著とされる本書は、性差別の構造を深く理解したい読者にとって必読の書。 (棚ジャンル) 海外事情 (中東) (読者対象) フェミニズム / 哲学に関心のある層 (類書) 稲原美苗ほか編『フェミニスト現象学入門』(ナカニシヤ出版)</p>				
5	367.21	女性問題-日本-歴史-明治以降	2025年9月	9784766430547	・女性解放論者・女性史研究の嚆矢として著名な高群逸枝 (1894～1964) の思想を解き明かす。 ・誰も置き去りにしない社会を目指し闘った高群の生涯を賭けた仕事を辿る。 女性解放論者、婦人運動の旗手、日本における女性史研究の嚆矢として著名な高群逸枝 (1894～1964) の思想を、最初期の評論「民衆哲学」「女詩人汝に語らん」に出現する「共存の愛」を軸に読み解いていく。本書は、誰も置き去りにしない社会を目指した高群の生涯をかけた、そして一貫した仕事を明らかにする。 (棚ジャンル) フェミニズム / 日本思想 (読者対象) 女性史 / 社会思想史を専攻する研究者、学生 (類書) 別冊環26『高群逸枝 1894-1964』(藤原書店)				
 <p>高群逸枝 「共存の愛」の思想 民衆哲学から女性史へ</p> <p>蔭木達也 (明星大学経済学部准教授) [著]</p> <p>四六判 / 上製352頁・本体3,600円</p> <p>目次 序論 第一章 民衆哲学と愛される愛 (高群の「民衆哲学」；永遠の生命と瞬間の生命；「美」を見出す「母性」と「恋愛」) 第二章 性の自治を実現する社会 (「婦人」固有の問題；「自治」の理想) 第三章 母なる神々、父なる天皇 (隠された系譜；闘争の上に立つ共存) 第四章 ともに生きる愛の社会へ (不在の天皇；時空を超えるアナーキーな理想) 結論</p>									

既刊本 NDC分類 (367.1) 女性問題

6	367.1	女性問題・フェミニズム	2022年11月	9784766430042	 分析フェミニズム基本論文集 木下頌子・渡辺一暁・飯塚理恵・小草泰編訳 A5判／並製308頁・本体3,000円	7	367.1	女性問題/売春/ポルノグラフィ/フェミニズム	2021年3月	9784766427349	 マルクス主義、フェミニズム、セックスワーク論 搾取と暴力に抗うために 森田成也著 四六判上製320頁・本体3,200円 電子有
英米系の分析哲学と呼ばれる潮流のなかでフェミニズムに関わるさまざまな問いに取り組む分野「分析フェミニズム」。近年盛り上がりを見せる同分野の代表的な論文8本を形而上学、認識論、倫理学の主要なトピックから紹介する。						広がった格差の中で女性への差別と暴力を構造的にとらえながら、ネオリベリズムがもたらした女性搾取のための詭弁「セックスワーク論」を正面から批判し、資本主義と男性支配という現代の支配的な社会システムの悪辣さを白日のもとにさらす。					
8	367.1	女性問題	2019年11月	9784766426359	 ひれふせ、女たち ミソジニーの論理 ケイト・マン著／小川芳範訳 A5判並製448頁・本体3,200円 電子有	9	367.1 367.2	女性問題/美容外科	2022年7月	9784766428179	 美とミソジニー 美容行為の政治学 シーラ・ジェフリーズ著 GCジャパン翻訳グループ訳 四六判上製368頁・本体3,200円 電子有
「女性嫌悪」とされるミソジニーとは何か？ 家父長制を維持するための「魔女狩り」のメカニズムを明らかにする革新的なフェミニズム思想のベストセラー。「ミソジニー」についての初めての研究書であり、フェミニズム思想を刷新した注目作。						美容行為（産業から日常的なものまで）を、男性支配と女性の従属を促進させる「有害な文化習慣」としてとらえ、西洋中心的・男性中心的価値観を痛烈に批判する。韓国・脱コルセット運動の原点にもなった、ラディカルフェミニズムの名著。					
10	367.1 289.1	女性問題 - 日本 - 歴史 - 明治時代	2011年12月	9784766419078	 福澤諭吉と女性 西澤直子著 四六判上製304頁・本体2,500円 電子有	11	159.6	女性問題 - 日本 女性教育 - 日本	2020年11月	9784766427103	 現代語訳 女大学評論 新女大学 福澤諭吉著 加藤紳一郎訳 新書判並製176頁・本体1,200円
「男子亦この書を読むべし」。明治の日本で、「男女平等」を公言した福澤諭吉。彼の近代化構想に女性はいかなる位置を占めたのか。福澤の真意を読み解き、今なお古びることのない「近代人」としての肖像を鮮やかに描き出す。						江戸時代の貝原益軒「女大学」を批判した「女大学評論」、そして、あらたな時代の女性のための書として著した「新女大学」。福澤諭吉による2編の女性論を平易な文体で現代語訳。読みやすさを重視し、語注も付す。					

既刊本 NDC分類 (367.2) 女性・働き方・家族

12	366.21	女性労働者 - 雇用 - 日本	2018年1月	9784766424942	 多様化する日本人の働き方 ——非正規・女性・高齢者の活躍の場を探る 阿部正浩・山本勲編 A5判上製280頁・本体4,200円 電子有	13	367.21	女性問題 - 日本	2023年10月	9784766429213	 日本女性のライフコース 平成・令和期の「変化」と「不変」 樋口美雄・田中慶子・中山真緒編 四六判上製280頁・本体2,200円 電子有
長時間労働は正や賃上げなど、正社員の働き方の再検討が進んでいる。だが、非正規雇用者、女性、高齢者が働く場を効率化することで、就業率をさらに高め、少子高齢化に十分対応可能な労働環境を整備できる。わが国の将来に向けて、その方策を考察・提言する。						定点観測が示す新たな展開 女性の働き方や生き方は、平成・令和期において、昭和の慣習からどれだけ変貌を遂げたのか？また、いまだに変わっていないのは、どんな事柄なのか？長期追跡調査から、女性のライフコースの多様性を分析・解説する。					
14	366.21	女性 - 日本 - 歴史 - 1868-1945	2020年12月	9784766427028	 慶應義塾大学法学研究会叢書 別冊 国際的視野からみる近代日本の女性史 ——政治経済・労働・セクシュアリティ 富田裕子、ゴードン・ダニエルズ／横山千晶監訳 A5判上製456頁・本体7,200円	15	367.21 334.31	少子化 - 日本/女性 - 日本/家族 - 日本	2018年2月	9784766424980	 少子高齢時代の女性と家族 パネルデータから分かる日本のジェンダーと親子関係の変容 津谷典子・阿藤誠・西岡八郎・福田亘孝編著 A5判上製368頁・本体4,500円 電子有
女性史研究の新たな地平を切り拓く 近代日本において女性解放運動家たちは、女性の地位を向上させるために活動したのか。国内外の第一級の研究者たちが様々な視点から読み解く、日本の女性史研究のメルクマールとなる一冊。						変わりゆく女性の生き方から、夫婦と親子の未来を読み解く『結婚と家族に関する国際比較調査 (JGGS)』の大規模パネルデータを基に、進学、就業から結婚、出産、育児、そして介護まで広範なライフステージに焦点を当て、日本社会の変容と少子化の深因を描き出す。					

既刊本 NDC分類 (367.2~392) 女性と歴史・経済・社会

16	367.221	ジェンダー 韓国、朝鮮	2024年10月	9784766429893	 <p>女性たちの韓国近現代史 開国から「キム・ジョン」まで 崔誠姫著 四六判並製224頁・本体2,600円 電子有</p> <p>韓国併合、戦争協力と犠牲、独裁政権、民主化運動、フェミニズム……。開国から現代にいたるまで、朝鮮・韓国の女性はどう生き、どう変わっていったのか。有名・無名のさまざまな女性たちに光を当て、近現代韓国の歴史を描きだす。</p>	 <p>女性たちのフランス革命 クリスティーヌ・ル・ボゼック著 藤原翔太訳 四六判上製224頁・本体2,400円 電子有</p> <p>パンと武器のために立ち上がれ！ 「自由・平等・友愛」の社会を目指したフランス革命は女性たちにとって何を意味したのか。政治に覚醒した市井の女性たちの「リアル」を明らかにする。</p>
18	366.38	女性労働 - アメリカ合衆国	2023年4月	9784766428476	 <p>なぜ男女の賃金に格差があるのか 女性の生き方の経済学 ゴールディン クラウディア著／鹿田昌美訳 四六判並製400頁・本体3,400円 電子有</p> <p>20世紀アメリカの女性たちはどのように「家族」と「キャリア」を選択してきたのか。100年間の男女平等への道筋をたどりながら、膨大なデータによる実証分析から賃金格差の原因を抉り出す。著者は2023年ノーベル経済学賞を受賞した。</p>	 <p>逸脱の文化史 近代の〈女らしさ〉と〈男らしさ〉 小倉孝誠著 四六判上製244頁・本体2,400円 電子有</p> <p>近代フランスの社会は、男女の身体、情動、欲望をめぐるどのような規範を課し、逸脱はどのように表象されたのか？ 小説、自伝、日記、医学書、性科学の啓蒙書などの言説をつうじて読み解いていく。</p>
20	366.7	ワークライフバランス	2021年10月	9784766427790	 <p>ワーク・ファミリー・バランス これからの家族と共働き社会を考える 高橋美恵子編著 四六判並製288頁・本体2,500円 電子有</p> <p>日本が目指すべき稼得・ケア共同型社会のあり方とは？ スウェーデン・ドイツ・オランダの子育て世代にインタビュー調査し、男女が共に家族と仕事を両立するための政策がどのように機能し、どんな課題があるのかを生活の中からリアルに描き出す。日本が目指すべき稼得・ケア共同型社会のあり方を探る意欲的な一冊。</p>	 <p>マテリアル・ガールズ フェミニズムにとって現実なぜ重要か キャスリン・ストック著／中里見博訳 四六判上製384頁・本体3,600円 電子有</p> <p>多様な「性」を尊重する社会づくりが世界中で進み、生活環境、公共施設、法律などが整備されつつある。その一方で、複雑化した「ジェンダー概念」への理解が追いつかず、社会的混乱を来している。本書では、生物学的性別よりもジェンダーを優先する、いわゆる「ジェンダーアイデンティティ理論」が生まれた思想的背景を説明し、生物学的性別の重要性と課題点を提示することを通して、「誰もが生きやすい社会」の実現に向けた現実的な解決を試みる。</p>
22	367.97	同性婚 - アメリカ合衆国 - 歴史	2020年10月	9784766427004	 <p>同性婚論争 「家族」をめぐるアメリカの文化戦争 小泉明子著 四六判並製240頁・本体2,000円 電子有</p> <p>わたしたちは「家族」になれるのか？ アメリカの同性愛者の権利運動が、福音派を中心とする保守から激しい反動を受けながらも、いかに2015年に同性婚（婚姻の平等）を実現したのか、その半世紀以上にわたる歴史を辿り、日本の議論に架橋する。</p>	 <p>女性兵士という難問 ジェンダーから問う戦争・軍隊の社会学 佐藤文香著 四六判上製330頁・本体2,400円 電子有</p> <p>女性兵士は男女平等の象徴か？ 戦争や軍隊は、どのような男性や女性によって担われ、いかなる加害／被害関係を生起させているのか。既存のジェンダー秩序を自明のものとしてとることなく、批判的に検証する。第15回昭和女子大学女性文化研究賞受賞。</p>
17	235.06 367.235	フランス革命 女性問題 - 歴史	2022年1月	9784766427943		
19	367.235 950.26	フランス文学 - 歴史 - 近代	2019年4月	9784766425925		
21	367.9	性問題/ジェンダー/フェミニズム	2024年9月	9784766429879		
23	392	軍隊 女性問題	2022年7月	9784766428353		